

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	一般高齢者機能訓練事業	2-21
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		2

担当部課	保健福祉部地域包括支援センター	直通電話	72-7017
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	田森 正廣
		担当者	内藤 義則

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	一般高齢者を対象に広く介護予防の知識を得、実践するための個人の活動、グループの活動を支援する。		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	自立支援サービスの充実	
	施策コード	20201	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	高齢者等が、生涯にわたって元気で生きがいのあるライフスタイルを築くことが出来、安心して暮らすことが出来るようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	一般高齢者が要介護状態にならないようにする。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	リハビリ教室 おげんき塾 転倒予防教室 冬季運動教室 骨太教室 いきいき楽習 地区高齢者健康教育 介護予防講座 フリープランの作成
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	平成17年度までは老人保健法等に基づき別々の事業として実施していたが、平成18年度から地域支援事業一般高齢者施策として一括にて実施。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	地域ボランティアや参加者自身も事業の運営に参加している。

3 事業に投入した行政資源					
	区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)			753	2,308	1,961
(2)その他の間接経費(千円)			120	120	120
(3)従事正職員の人件費(千円)		0	10,771	11,662	/
総事業費((1)~(3)の合計:千円)		0	11,644	14,090	
事務に従事した正職員延べ人数			1.30	1.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収     入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支     出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
	計(B)	0	0	0	0			計	0	0	0
(A/B)											

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
	活動指標名	H17	H18	H19	H20
事業開催回数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		333	555	/
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果 (単位:千円・%)	
-------------------	--

成果指標名		H17	H18	H19	H20
参加者延人数	目標値		未設定	未設定	未設定
	実績値		3,905	6,565	
	達成率		-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価 担当課長が評価します。					
(1) 必要性		(4) 有効性			
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	2
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	イ 成果	1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	2
(2) 効率性			ウ 事業内容	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	2
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	(1)～(4)の評価ポイント合計 総合評価の参考にしてください。		
(3) 公平性			7～11	A or B	14
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	12～15	B or C	
さらなる受益者負担は可能か			16～21	D or E	

8 課長評価 担当課長が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	事業の拡大により、参加人数の増加が図られるなど適切に実施されている。
(2) 今後の方向性・課題		
高齢者の介護予防に有効な事業であり、今後も継続が必要である。		
(3) 平成21年度の方向性		
*:担当課長	事業内容	
	現状維持	一部見直し
事業規模	拡大方向	大幅見直し
	現状維持	*
	縮小方向	
	統合	
	休・廃止	

ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価 課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。			
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、 B:良好、C:可も不可もない、 D:問題がある、E:大きな問題がある)	高齢者の身体的な機能の維持・向上に向けた多様な事業を適切に展開している。	
(2) 今後の方向性・課題			
個々の身体状況にあった新たな事業創出など、介護予防事業の一環として推進する。			
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長 (もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		